

若ノ嶋 7連勝

大復活

紙相撲新聞

第163回本場所
中日～七日目

編集・発行
日本紙相撲協会

まさに土俵際からの奇跡の生還

昨年春場所優勝以来の大復活祭りか？

【第百六十三回本場所中日～七日目】

秋晴れの好天に恵まれた11月4日、中日と七日目が開催され、横綱若ノ嶋がただ一人7戦全勝で優勝争いの単独トップに立ち、これを横綱千代鈴、平幕の鉄甲、照の王の3人が追う展開となった。

五日目に小結四季嶋に敗れた新横綱大神楽は中日に大関西神門に、七日目に小結夢ノ花に敗れて4敗となり、八日目から休場することになった。大神楽の休場は初土俵以来初めてのこと。



↑七日目、絶好調の若ノ嶋にとって最大の難関、鬼門である鬼ヶ嶽との一番。苦戦が予想される中、出足鋭く鬼ヶ嶽を圧倒して奇跡的な7連勝を飾った。

↓星一つ差で追う千代鈴も快調。中日鬼ヶ嶽、七日目烏帽子岳を難なく下して逆転優勝を目指す。



磯ノ海親方の話では「大神楽は腕を痛めている」とのこと、後日診断書が提出される見込み。新横綱として多くの行事をこなす中で十分な稽古ができず、また、横綱としての重圧もあったものと推測される。新横綱の休場は誠に残念だが、体調を整えて来場所にも再び元気な雄姿をみせてもらいたいものだ。

「この一番に勝つか負けるかは若ノ嶋にとって大きいね」と朝日松理事長。確かにこの一番に勝てば、八日目以降の横綱大関戦に気持ちよく臨める。

注目的一项是若ノ嶋が踏み込みよく鬼ヶ嶽ののど輪を何とかかわして左を差して寄り切りで鬼ヶ嶽を下した。「よし！勝った」と喜びを隠しきれない錦風親方。これで初日から土つかずの7連勝。

全勝	若ノ嶋
一敗	千代鈴、鉄甲、照の王
二敗	西神門、綱乃花、白閃光
桃乃洲、出羽翼、六歌仙	
若ノ嶋	
桃乃洲	
若ノ嶋	

今場所の若ノ嶋は出足も冴えをみせていて、烏帽子に対して一方的に寄り立てて向正面土俵に寄り切った。そして七日目は苦手の関脇鬼ヶ嶽戦。「顔を見るのもイヤ！」というほど、かつて大事な一番で幾度も苦杯を舐めた相手。対戦成績も7勝12敗と大きく負け越している。

横綱春ノ翔は3勝2敗で迎えた中日は千代鈴、大神楽に勝って勢のある綱乃花との対戦。進退を賭けた場所だけに負ければならぬと臨んだが、綱乃花に一方的に寄り切られ3敗目を喫した。



春ノ翔○(押し倒し)●西神門

七日目は早くも大関西神門と初顔の一番。注目されたが、立合いからの一気ののど輪を西神門を一蹴して白星を先行させた。



春ノ翔●(寄り切り)○綱乃花

初日からの7連勝は過去3度あり、その場所では優勝2回、優勝残しているという成績を残している。「奇跡の優勝か」との声も上がっているが、果たして優勝を手にする事ができるのか、残すは4日間だ。

横綱千代鈴は四日目に本人が「受け間違っただけ」と言うように立合いに失敗して綱乃花に白星を積み上げて行くにはハードルが高くない。



鉄甲○(引き落し)●英 笹



西神門○(引き落し)●大神楽